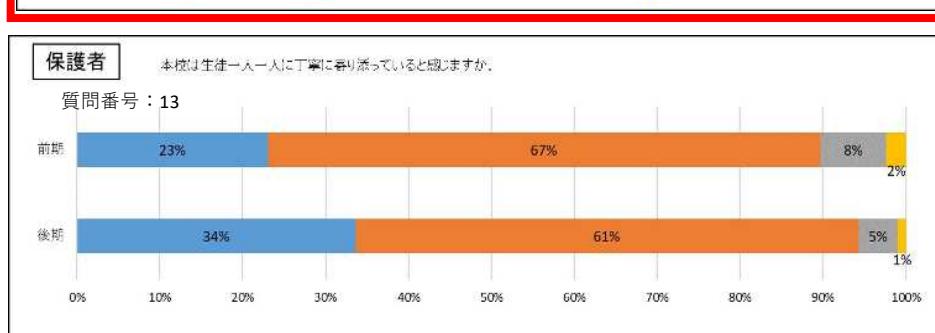
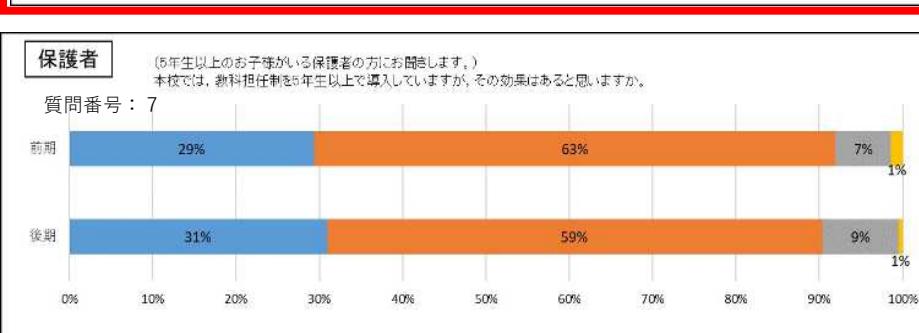
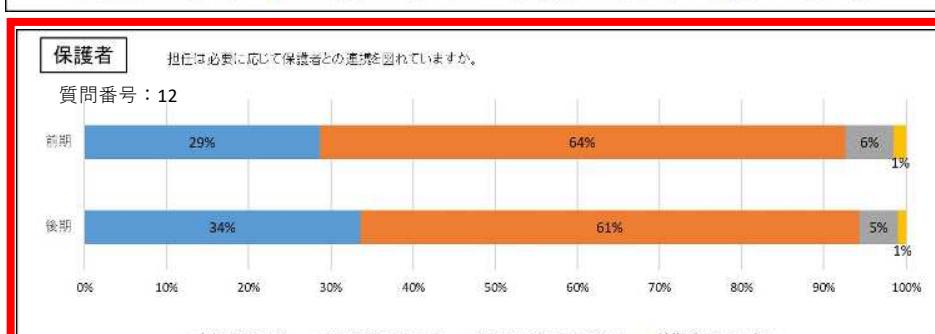
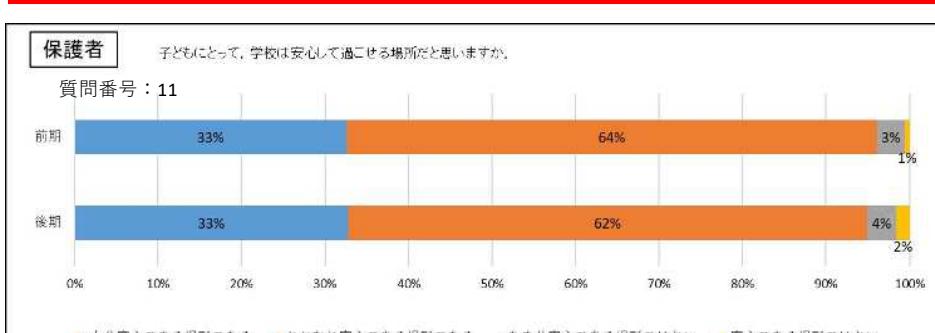
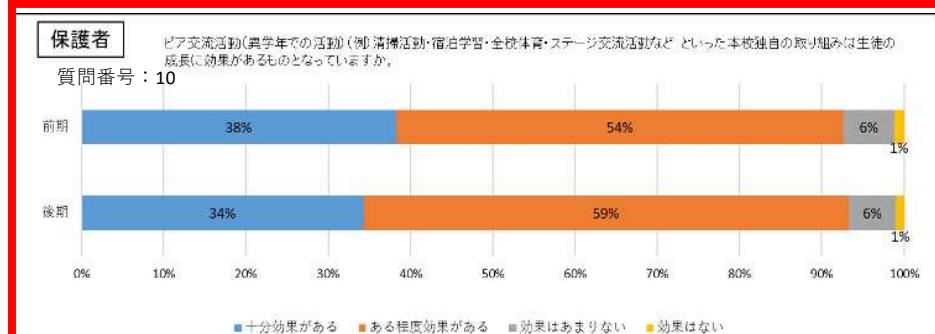
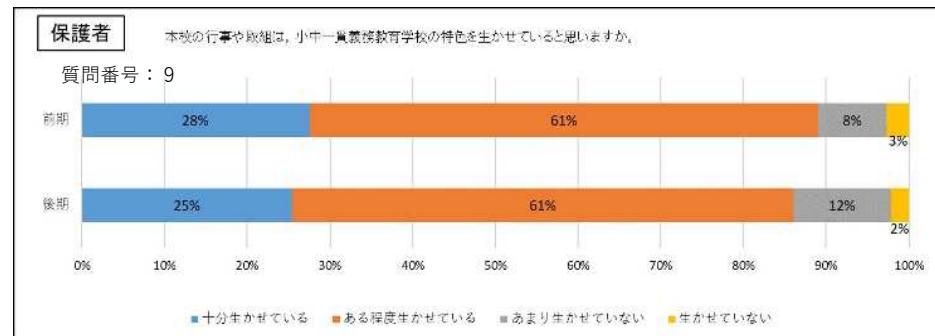
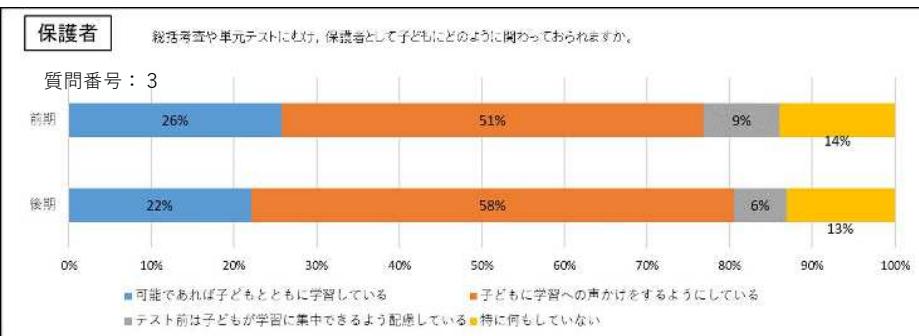
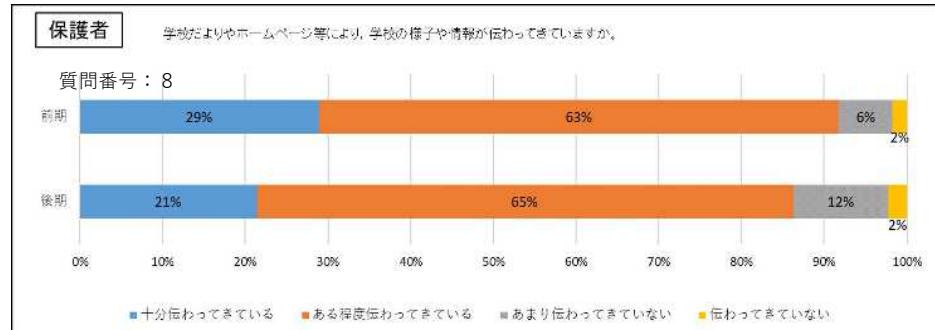
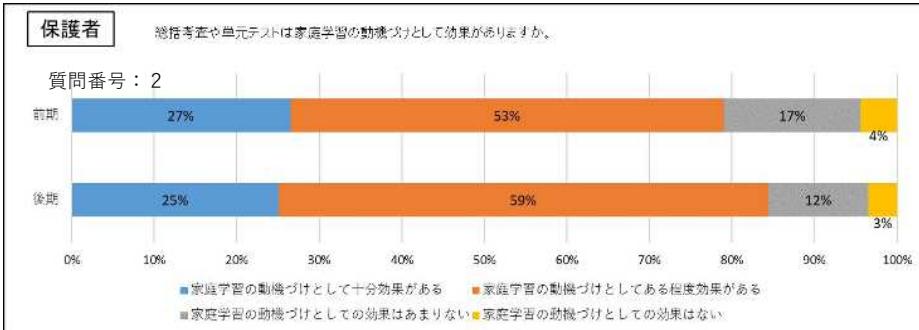


<保護者アンケート結果>



<保護者アンケート結果より>

令和4年度 後期学校評価アンケートに多くの方からご回答いただきまして、誠にありがとうございました。前期アンケートと同様に、どの質問の結果を見ましても、多くの方が選択肢の1・2番（十分～、おおむね～）を選ばれ、本校の取組にご理解をいただけておりますこと、とてもありがとうございます。前回と著しく結果が変容した項目はなかったのですが、少しの違いに着目してよりよい学校を目指していくたいと考えています。

質問番号4「自主学習」についての回答では、「そう思う」「ややそう思う」が約10%増え、肯定的にとらえていただいております。4月から「自主学習」の取組を重点的に進めてまいりました。そのねらいである「自ら興味をもったことに対して課題を設定し学習を進めることが自らの学びにつながる」ことを教職員一同が理解し、生徒たちに伝え、家庭と協力して取り組んできたことが少しづつ成果として表れていると実感しています。来年度以降も、生徒が自主的に学習に取り組めるような工夫や働きかけを継続してまいります。

質問番号6の「GIGA端末の持ち帰りの効果」について聞かせていただいた項目では、「効果がある」と回答された方が前回の結果よりも4%増えています。2学期には、全学年でGIGA端末の持ち帰りを実施（1年生・1組「あ」は必要に応じて）し、学校でも家庭でもGIGA端末を文房具のように学習に不可欠なツールとして活用していくよう、環境を整えています。しかし、GIGA端末は学習を支援するツールとなる一方で使い方を誤ると危険なところです。誰かを傷つけたり、知らないところで自分の情報を漏れたりするかもしれないという危険性が潜んでいます。学校ではネットやSNSのトラブルに巻き込まれた時にどのように対応すればよいかなど、具体的な例を挙げて学年に応じた情報モラルの学習を実施しています。ご家庭でも効果的なGIGA端末の使い方ができるよう、促していただければと思います。今後も、GIGA端末の効果的な使用法を模索し、生徒自らが使い方を選択し活用していくように取り組んでいきたいと思います。

質問番号10の「ピア交流活動」に関する質問では、90%以上の方がその取組によって「生徒の成長に効果がある」とお答えいただきました。2学期には、新型コロナ対策を講じた上で「秀蓮フェスティバル音楽の部」を保護者参観ありで実施することができました。また、「秀蓮フェスティバル文化の部」では、1~9年生が「たてわりグレープ」を作り、校内を回ってポスターセッションを聞きあったり、舞台発表では、応募した生徒が様々な特技を披露したのを全校生徒が集まって観たりすることができます。保護者の皆様にも試験的ですがYouTube配信でその様子をご覧いただけたと思います。このように、昨年度まではあまりできなかったピア活動を積極的に進めることができました。来年度はさらに学年を超えて交流が深められるような取組を実践していきたいと考えております。

質問番号12の「担任は必要に応じて保護者との連携が図られていますか。」では、95%の方が「図れている」と回答していただきました。前期の結果でも、93%の方が「図れている」とされていたのですが、今回は「十分図れている」の回答が前回より5%増えています。懇談時だけでなく、日ごろから担任と保護者との連携を大切にしていることからの結果を受け止めております。今後も全教職員が生徒一人ひとりにしっかりと寄り添った教育活動を展開していきます。

R4年度 後期学校評価アンケート一覧(生徒)

※アンケートの考察は下記をご覗ください。

1.「確かな学力」の育成について

	前期実現度(ベーシックステージ)				後期実現度(ベーシックステージ)				前期実現度(チームステージ)				後期実現度(チームステージ)				前期実現度(ビジョンステージ)				後期実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来っていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来っていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来っていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来っていない	出来てない
1 授業では、その単元で学ぶことが自分たちの生活とどのようにつながっているのか理解して学習を進めている。	65%	28%	6%	1%	69%	24%	5%	1%	30%	57%	12%	1%	27%	57%	16%	0%	19%	59%	19%	3%	21%	62%	14%	3%
2 授業中に、自分の考えをもつことができている。(思考力)	58%	35%	4%	2%	49%	41%	9%	2%	45%	47%	7%	1%	40%	51%	10%	0%	32%	59%	7%	2%	30%	62%	8%	0%
3 授業中に、友だちの意見と自分の意見を比べることができている。(思考力)	57%	29%	12%	2%	46%	36%	15%	3%	30%	48%	20%	2%	29%	52%	17%	2%	26%	57%	14%	3%	34%	53%	11%	2%
4 授業中に、自分の考えを説明している。(発信力)	51%	26%	17%	6%	39%	35%	19%	7%	27%	33%	32%	7%	20%	42%	31%	8%	15%	40%	38%	8%	20%	44%	33%	3%
5 授業中に、目的や場面にあわせて自分の考えが伝わるように説明している。(発信力)	48%	35%	13%	4%	39%	40%	17%	4%	24%	45%	25%	5%	20%	47%	31%	3%	15%	53%	26%	6%	21%	53%	22%	4%
6 授業中に、自分の考えを友だちと伝え合っている。(コミュニケーション力)	64%	27%	8%	1%	57%	36%	5%	3%	43%	48%	7%	1%	46%	46%	9%	0%	37%	51%	11%	2%	37%	50%	11%	2%
7 授業中に、友だちといっしょに問題を解決している。(コミュニケーション力)	60%	29%	7%	4%	48%	37%	12%	3%	48%	40%	10%	2%	39%	52%	9%	1%	39%	50%	8%	2%	30%	56%	12%	2%
8 失敗をおそれずにたくさんのことについてチャレンジしている。(折れない力)	63%	28%	7%	1%	53%	33%	11%	3%	31%	45%	18%	6%	25%	45%	30%	2%	15%	52%	28%	6%	14%	61%	21%	4%
9 だれにでも思いやりの心をもって過ごしている。(多様性を受容する力)	65%	29%	5%	1%	62%	31%	6%	1%	45%	48%	6%	1%	44%	48%	7%	1%	39%	52%	8%	0%	44%	50%	3%	2%
10 自分をふりかえってよりよくしようとしている。(自律的活動力)	59%	30%	8%	3%	53%	34%	11%	2%	38%	43%	17%	3%	34%	49%	16%	2%	24%	57%	17%	2%	27%	62%	10%	0%
11 総括考査や単元テストにむけて、家庭学習を進めるようにしている。	53%	26%	14%	8%	43%	30%	19%	8%	37%	43%	15%	5%	32%	43%	23%	3%	30%	46%	19%	5%	31%	46%	18%	5%
12 学校や家で、学習の支援としてGIGA端末を使うことができている。	56%	24%	10%	10%	61%	24%	12%	3%	43%	37%	15%	5%	30%	43%	24%	4%	21%	45%	26%	8%	17%	50%	22%	10%
13 蓮花タイムなどで、地域とのつながりを大切にした学習を進められている。	64%	23%	7%	7%	63%	28%	7%	2%	46%	48%	4%	2%	45%	48%	7%	1%	26%	60%	12%	2%	27%	58%	13%	3%
14 5年生以上の教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている。									69%	30%	0%	1%	58%	42%	0%	1%	49%	46%	4%	1%	47%	48%	4%	1%
15 英語の授業では、場面に応じた内容を自分で考えて話している。									41%	48%	11%	1%	41%	42%	16%	1%	21%	53%	21%	4%	21%	55%	19%	6%

2.「豊かな心」の育成について

	前期実現度(ベーシックステージ)				後期実現度(ベーシックステージ)				前期実現度(チームステージ)				後期実現度(チームステージ)				前期実現度(ビジョンステージ)				後期実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来いない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない
16 楽しく学校生活を送っている。	81%	12%	6%	1%	79%	14%	4%	3%	74%	22%	4%	0%	68%	30%	2%	0%	55%	39%	4%	2%	58%	41%	1%	0%
17 友だちと協力することを大切にしている。	78%	18%	3%	1%	77%	18%	3%	1%	75%	22%	2%	1%	66%	32%	1%	1%	60%	37%	3%	1%	58%	36%	5%	1%
18 学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思う。	71%	23%	6%	0%	66%	29%	4%	1%	60%	36%	4%	0%	57%	39%	4%	0%	46%	45%	8%	1%	51%	43%	6%	0%
19 他の学年の人のつながりを大切にしている。(ピア交流活動など)	77%	20%	2%	1%	69%	26%	4%	1%	61%	33%	5%	1%	54%	44%	3%	0%	40%	49%	10%	1%	40%	49%	11%	0%
20 自分以外の人を大切にし、それぞれの個性を認めるようにしている。	72%	21%	5%	2%	62%	32%	5%	1%	60%	36%	2%	1%	53%	46%	2%	0%	57%	40%	3%	1%	56%	41%	3%	0%
21 「こころ科」ではテーマに対して自分の考えをもち、友だちと交流することができている。	67%	24%	8%	1%	62%	30%	6%	2%	60%	35%	5%	0%	52%	42%	5%	1%	43%	50%	6%	1%	43%	50%	6%	1%

3.「健やかな体」の育成について

	前期実現度(ベーシックステージ)				後期実現度(ベーシックステージ)				前期実現度(チームステージ)				後期実現度(チームステージ)				前期実現度(ビジョンステージ)				後期実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来いない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない
22 学年に応じた寝る時間を心掛けている。 (BS:午後9時 TS:午後10時 VS:午後11時)	46%	24%	14%	16%	34%	29%	19%	17%	33%	22%	25%	20%	30%	26%	24%	20%	19%	12%	29%	39%	19%	21%	26%	33%
23 学校に行く日は、朝7時までに起きている。	70%	18%	7%	5%	60%	25%	9%	6%	64%	18%	12%	7%	56%	20%	15%	9%	37%	20%	19%	25%	32%	23%	21%	2

1.「確かな学力」の育成について		実現度（ペーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来っていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来っていない	出来ていない
授業中に、自分の考えを友だちと伝え合っている。（コミュニケーション力）	前期	64%	27%	8%	1%	43%	48%	7%	1%	37%	50%	11%	2%
	後期	57%	36%	5%	3%	46%	46%	9%	0%	37%	50%	11%	2%
授業中に、友だちといっしょに問題を解決している。（コミュニケーション力）	前期	60%	29%	7%	4%	48%	40%	10%	2%	39%	50%	8%	2%
	後期	48%	37%	12%	3%	39%	52%	9%	1%	30%	56%	12%	2%
授業中に、自分の考えを説明している。（発信力）	前期	51%	26%	17%	6%	27%	33%	32%	7%	15%	40%	38%	8%
	後期	39%	35%	19%	7%	20%	42%	31%	8%	20%	44%	33%	3%
授業中に、目的や場面にあわせて自分の考えが伝わるように説明している。（発信力）	前期	48%	35%	13%	4%	24%	45%	25%	5%	15%	53%	26%	6%
	後期	39%	40%	17%	4%	20%	47%	31%	3%	21%	53%	22%	4%
総括考查や単元テストにむけて、家庭学習を進めるようにしている。	前期	53%	26%	14%	8%	37%	43%	15%	5%	30%	46%	19%	5%
	後期	43%	30%	19%	8%	32%	43%	23%	3%	31%	46%	18%	5%

生徒が「自らの考えを伝え合うこと」や、「他者と協働し課題解決を行っている」という質問について、前期学校評価アンケート同様、9割程度の生徒が肯定的な回答を行っていることがわかります。今年度、生徒の「主体的な学びの実現」に向けた手段の一つとして「反転学習」に取り組み、少しづつではあるものの「生徒の主体性」の向上が見られました。また、昨年度大きく課題としてあげていた「自身の考えを説明する」においても、上昇傾向が見えます。これは、授業内の課題に対して、他者と協働する場面を意図的に設けていることが大きな要因だと捉えています。授業内の様子を見ていても、自然発生する会話の中身を聞くと、課題を解決しようとする言動が見られます。

しかし、生徒の声に耳を傾けると手放しに喜ぶことはできません。「勉強が計画通りに進まない」や「上手な勉強のやり方がわからない」といった声があります。また、多くの生徒から総括考查後に「もう少し早く勉強しておけばよかった」や自学自習シート（家庭学習）を行なう際に「どのように勉強したら良いのかわからない」といった声もあります。また、今年度4月に実施した全国学力・学習状況調査の報告書（質問紙調査）から、平日（月～金）1日当たりの学習時間を見ると、本校9年生の「2時間以上勉強している生徒」は全体の59.4%（6年生は56.3%）になる。平日に生徒が部活動や習い事を終えて帰宅した時刻から就寝するまでの時刻を考えれば、平日の学習時間をこれ以上増やすことは難しく、学校外でも学習することが習慣付いていると言えます。しかし一方で、合わせて40.6%となる平日の学習時間が1時間未満の生徒たちは、学習習慣が確立されているとは言い難い結果が見えてきました。また、それら学習時間の短さと総括考查・京都市共通テストの正答率の低さに相関関係があることもわかつてきました。

生徒たちが持つ学習上の悩みとして、①『学習を進める上で計画を立て、必要に応じてそれらを修正していくこと』②『自らの学習過程を客観的に捉えることができていないこと』③『自分が行っている学習方法の良し悪しを検討し、課題に応じた最適な学習方法を選択することができていないこと』です。これら3つの要素が相互作用し働いていないため、生徒は不安感をもちらながら学習を進め、自らの学習に対して自信をもつことができないため、学習に消極的な状況が生まれていると考えられます。「確かな学力」の育成に向けて、生徒の主体性向上、言い換えるのであれば、「生徒の心に火をつける」ことを目指す場合、上述した3つの要素を視野に入れた支援がなければ、「自分にもできる」という自己効力感の育成は難しいと言えます。学校評価アンケートにある「自分をふりかえってよりよくしよう（自律的活動力）」の項目は、前期に比べ、どのステージも大きく向上傾向にあることから、生徒がもつ「頑張りたい」「よりよくなりたい」という思いが表出されています。そういった生徒の思いの達成に向けて、自己調整力を獲得させる取組を進めていきたいと思います。ひいては、この力が今年度掲げた「生徒の主体性育成」に大きく寄与するものだと捉え、本校学校教育目標達成の一助になると確信しています。今年度も残りわずかとなりましたが、これまでの経験や学校文化に伴う概念から一線を画し、「変える、変わる」を軸とした挑戦を続けていきます。

2.「豊かな心」の育成について

		実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
		よく出来ているる	大体出来ているる	あまり出来ていない	出来っていない	よく出来ているる	大体出来ているる	あまり出来ていない	出来っていない	よく出来ているる	大体出来ているる	あまり出来いない	出来ない
⑥学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思う。	前期	71%	23%	6%	0%	60%	36%	4%	0%	46%	45%	8%	1%
	後期	69%	26%	4%	1%	57%	39%	4%	0%	51%	43%	6%	0%
⑦他の学年の人とのつながりを大切にしている。（ピア交流活動など）	前期	77%	20%	2%	1%	61%	33%	5%	1%	40%	49%	10%	1%
	後期	66%	29%	4%	1%	54%	44%	3%	0%	40%	49%	11%	0%

「学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色をいかせていると思う。」や「他の学年の人とのつながりを大切にしている。（ピア交流活動など）」という質問（⑥～⑦）の項目では、前期と同様に約9割が肯定的回答となりました。これは、行事等だけでなく、継続的に学年・ステージを越えたピア活動の成果だと捉えています。上級生の数値が上昇傾向にあることから、ピア活動により創出される効果が、生徒の実感へとつながっていると考えています。また、下級生の回答内訳を確認すると、「よく出来ている」の割合が「大体出来ている」に移っていることが分かります。「withコロナ」を意識した新たな学校行事が、校内で自然発生的にピア交流につながっているを感じます。ピア学年同士が触れ合ったり、会話をしたりする場面を多々見かけることは、下級生にとってのピア交流が日常に「当たり前」と溶け込んでいるとも捉えています。学校としてこの状態を停滞していると捉えるのではなく、次のステージへと上がるための土台作りだと捉え、本校だからこそできる「新たな変化」につなげていきたいと考えています。上級生も下級生もお互いが「あこがれにあこがれる関係性」を生み出し、そこから刺激を受け、お互いが高め合おうとする「意欲」につなげていくことが重要になると感じています。それがひいては、本校の掲げる「他とつながる力」の達成に向けた一助になると今回の結果から捉えています。今年度も残りわずかですが、さまざまな活動が計画されていますので、少しでも子どもたちにとってより良い活動となるように取り組んでいきます。

3.「健やかな体」の育成について

		実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
		よく出来ているる	大体出来ているる	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ているる	大体出来ているる	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ているる	大体出来ているる	あまり出来いない	出来ない
学年に応じた寝る時間を持つている。 (BS:午後9時 TS:午後10時 VS:午後11時)	前期	46%	24%	14%	16%	33%	22%	25%	20%	19%	12%	29%	39%
	後期	34%	29%	20%	17%	30%	26%	24%	20%	19%	21%	26%	33%
学校に行く日は、朝7時までに起きている。	前期	70%	18%	7%	5%	64%	18%	12%	7%	37%	20%	19%	25%
	後期	60%	25%	9%	6%	56%	20%	15%	9%	32%	23%	21%	24%
毎日必ず、朝食を食べている。	前期	85%	10%	3%	2%	72%	13%	9%	6%	62%	21%	10%	7%
	後期	86%	8%	4%	1%	75%	14%	6%	6%	68%	19%	6%	8%
家や学校で意識して体を動かしたり、運動をしたりしている。	前期	69%	17%	9%	5%	47%	32%	16%	5%	49%	28%	16%	7%
	後期	66%	24%	6%	4%	46%	32%	17%	5%	32%	32%	24%	12%
家や学校での食事において、自分の体の成長に必要な栄養や分量をとることができている。	前期	67%	23%	8%	2%	48%	38%	12%	2%	38%	51%	9%	3%
	後期	66%	27%	6%	1%	53%	39%	8%	1%	38%	44%	15%	2%

学年に応じた寝る時間の心掛けについては、チームステージでは「あまり出来なかった」が1%減少していく、ビジョンステージについては「大体出来ている」が9%上昇しました。例年後期の結果では寒くなると就寝時間が遅くなったり、朝起きにくくなっていたりしていますが、ビジョンステージのこの良い結果はすいみん週間が終わってからのアンケート調査ということも影響があったのではないかと期待しています。「毎日必ず、朝食を食べている」についてはベーシック・チーム・ビジョンステージがそれぞれ「よく出来ている」数値が上がっていました。自ら進んで早く就寝したり、毎日欠かさず朝食を食べたりすることについてはご家庭で日頃よりお声かけやご協力いただいているところですが、今後も引き続きよろしくお願いたします。運動については、「よく出来ている」が減少しているものの、ベーシックステージにおいては「大体出来ている」の数値が7%上昇していました。今年度からボールを使った遊びを取り入れたことにより、朝から元気で楽しそうにドッジボールをしている生徒の姿が毎日見られます。寒い時期でも朝休みや中間休みなどで運動に親しむ機会が増えました。学校では、今後も様々な遊びを通して子どもたちの体力向上につながるような取組を検討・実施しています。次年度に向けて、今年度の成果を踏襲し、「新たな変化」を生み出していきたいと考えています。

4.家庭・学校・地域との連携について

どんな大人になりたいかを、家の人と話している。	実現度（ベーシックステージ）					実現度（チームステージ）					実現度（ビジョンステージ）					
	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	
前期	54%	22%	11%	13%	37%	29%	23%	11%	28%	31%	26%	15%				
後期	58%		22%	10%	9%	35%	33%	22%	11%	24%	39%	27%	9%			

上の設問では、9年間の学校生活のあらゆる場面で、生徒が未来の自分の姿をいかにイメージして過ごしているか、さらに家庭内でそれらを共有していくことで、なりたい自分の姿がより具体的なものになることを願っています。学年が上がれば上がるほど「よく出来ている・大体出来ている」との回答が少ない現状があるものの、後期のビジョンステージでの「大体出来ている」が8%増えている結果が見られたことは、アンケートを取った2学期末に卒業後の進路の話などを具体的にしていただいたからだと捉えています。

これから生徒たちが生き抜いていく社会は、人工知能等の情報技術の進展やグローバル化といった変化が人間の予測を超えて、急速に進展していくと言われています。今年度も、社会情勢や生徒を取り巻く状況においても、多くの目まぐるしい「変化」がありました。本校は、そんな未来を担う生徒たちが、こういった「変化」の中においても、高い志と意欲を持ち、生きていく上で大切な、『自らを律し、他者と協働し、たくましく生きる』という力を身につけてほしいと考えています。そのために、「誠実さ・謙虚さ・思いやり・感謝・純粋な心・挫折に負けない心」といった豊かな人間性を育むことを教育の柱とし、教育活動を推し進めてきた次第です。また、それらの人間性を育むことで、今後生徒が「変化」に対応できる「知・徳・体」のバランスのとれた人間力を高めることができるとも捉えています。

後期学校評価アンケートに目を向けると、「思いやりの心をもって過ごしている」や「自身をより良くしようとする」といった本校が学校教育目標達成に向けた資質能力の向上を見る質問に、多くの生徒の回答が①・②（肯定的な意見）を選択してくれていました。本校の取組が少しずつはあるものの、上述したものの実現へつながっているように感じます。また、「withコロナ」を意識した新たな学校行事では、学年・ステージを超えた感動を多々見ることができました。数字として表れていない部分となりますが、日々学校現場において、生徒の言動の変容が教職員一同喜び合う機会となりました。

しかし一方で、地域の人々・保護者の方々の願いである「9年間の学びと育ちのつながり」を一つにする点においては、まだまだ発展途上にあるとも捉えています。「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成において、「あまり出来ていない」「出来ていない」割合に一定変容が見られません。これは、9年間という今までにない長く連續した期間の中で、我々は生徒の学びと育ちをつなげていくための「授業の質」を高めることや、9年間を見通したカリキュラムの系統的な指導の実践、高い意欲で学び続けること、心豊かな人間性の育成など、チャレンジしていくことが多々あることだと捉えています。また、本校がこの地域の人々の願いや協力によって開校した際のコンセプト「変える・変わる」を軸とした「学びのつながり」「育ちのつながり」「人のつながり」をより良い形へ発展させていきたいと考えています。

今年度、コロナ禍における行事の制限が緩和されたこともあり、生徒はこれまで以上に学校生活を一生懸命に楽しむ姿や、様々なことに取り組む姿・言動が見られました。ついでに我々大人たちは、「子どもに良かれと思って」や「もっと向上してほしい」「もっと力をつけてほしい」と、口うるさくできていないことや、修正すべき所を指摘したり教えたりしがちですが、それよりも大人が目を細めて見ることができる機会をたくさん作り、「ありがとう」が出てくる関わりを、これからも追いかけていきたいと思います。

最後に、今年度より、学校から配られるプリントの多くを電子配信させていただいております。それに伴い、PTAメールや学校HP等で保護者の皆様に直接確認してもらうことが増えました。ご協力ありがとうございます。今後も学校の様子や学年からお知らせしたいことなど、HPに掲載していきますので、ご覧いただき、ご家庭でお声かけ等していただけるとありがたいです。